

令和3年度 荒尾市上・下水道事業会計 決算の状況

荒尾市企業局



企業会計の「おさらい」

3条収支（収益的収支）

収益

費用

給水収益
・水道料金

維持管理費
企業債利息

営業外収益
・受取利息など

減価償却費

純利益

現年度
損益勘定留保資金

<3条収支（収益的収支）>

施設設備の**維持管理**に係る収益と費用

【収益】水道料金とその他の収益

【費用】水をつくり、送り、施設設備を管理する経費
⇒減価償却費のように現金支出を伴わない支出も含まれる

<4条収支（資本的収支）>

施設設備への**新規投資**に係る収益と費用

【収益】企業債収入、補助金、内部留保資金など

【費用】施設設備を新設・改良するための費用

4条収支（資本的収支）

収益

費用

企業債収入
補助金など

建設改良費

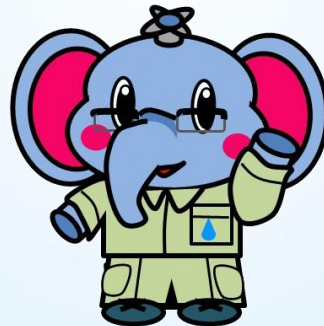
企業債元金

内部留保資金

内部留保資金

現年度
損益勘定留保資金

過年度
損益勘定留保資金



<内部留保資金>

家庭での貯金に該当するもの

⇒3条収支と4条収支を連結するもの
⇒3条の純利益と減価償却費のように現金支出のない費用計上によって生じた資金を含む

荒尾市水道業務の状況

令和4年3月31日現在

項 目	単 位	令和3年度	令和2年度	増減
行政区域内人口	人	50,622	51,321	△699
年度末給水人口	人	48,509	49,199	△690
普 及 率	%	95.8	95.9	△0.1
年間総配水量	m ³ /年	5,402,253	5,599,561	△197,308
年間有収水量	m ³ /年	4,999,389	5,086,766	△87,377

年間総配水量：配水池や浄水場から送り出した1年間の水量

年間有収水量：水道料金収入につながった1年間の水量

- ※ 給水人口は、1年間で690名減少しました。今後も給水人口は減少傾向になると予測します。有収水量も給水人口と同様に減少しており、年間の水道料金収入も減少したことを意味します。



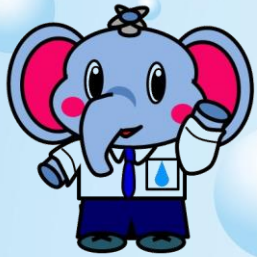
経営の状況 3条収支（収益的収入・支出）

（収益的収入）	（単位：千円）						
	令和3年度		令和2年度		対前年度比		水道ビジネス (R3)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)	
1. 営業収益	754,740	73.2	773,977	72.1	△19,237	△2.5	733,496
2. 営業外収益	276,198	26.8	283,638	26.4	△7,440	△2.6	281,452
3. 特別利益	440	0.0	16,314	1.5	△15,874	△97.3	
計	1,031,378	100.0	1,073,929	100.0	△42,551	△4.0	1,014,948

（収益的支出）	（単位：千円）						
	令和3年度		令和2年度		対前年度比		水道ビジネス (R3)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)	
1. 営業費用	941,563	93.7	911,223	93.3	30,340	3.3	963,544
①職員給与費	45,978	4.5	44,414	4.5	1,564	3.5	43,024
②経費	480,037	47.9	467,855	47.9	12,182	2.6	511,861
委託料（包括：修繕費）	58,835	5.9	60,056	6.1	△1,221	△2.0	67,244
委託料（包括：動力費）	52,280	5.2	53,305	5.5	△1,025	△1.9	52,363
委託料（包括：その他）	183,386	18.3	180,539	18.5	2,847	1.6	223,114
包括委託以外の経費	185,536	18.5	173,955	17.8	11,581	6.7	169,140
③減価償却費	406,081	40.4	396,183	40.6	9,898	2.5	405,408
④資産減耗費	9,467	0.9	2,771	0.3	6,696	241.6	3,251
2. 営業外費用・特別損失	63,263	6.3	65,558	6.7	△2,295	△3.5	74,321
計	1,004,826	100.0	976,781	100.0	28,045	2.9	1,037,865

収益的収支は、1,031,378千円－1,004,826千円＝26,552千円の純利益となりました。





(損益収支)	(単位：千円)			
	令和3年度	令和2年度	増減	水道ビジネス (R3)
当年度純利益	26,552	97,148	△70,596	△22,917
前年度繰越利益剰余金	148,331	111,182	37,149	
その他未処分利益剰余金変動額	98,843	0	98,843	
当年度未処分利益剰余金	273,726	208,330	65,396	
利益剰余金	858,447	831,895	26,552	

当期純利益 2,655万2千円（令和2年度より7,059万6千円の減少）

利益剰余金（※1） 8億5,844万7千円（令和2年度より2,655万2千円の増加）

※1 利益剰余金とは、家庭での貯金に該当するものであり、これまでの利益の累積額です。利益剰余金が不足すると年度途中に発生する工事費の支払い等が出来なくなり、安定した事業の運営に支障をきたす恐れがあります。



経営の状況 4条収支（資本的収入・支出）

(資本的収入)	(単位：千円)						
	令和3年度		令和2年度		対前年度比		水道ビ' ヅ ヨ' (R3)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)	
1. 企業債	295,500	59.3	473,200	68.3	△177,700	△37.6	261,702
2. 工事負担金	15,760	3.2	14,018	2.0	1,742	12.4	12,315
3. 他会計負担金	13,108	2.6	9,448	1.4	3,660	38.7	4,050
4. 補助金等	174,012	34.9	196,082	28.3	△22,070	△11.3	102,200
計	498,380	100.0	692,748	100.0	△194,368	△28.1	380,267

(資本的支出)	(単位：千円)						
	令和3年度		令和2年度		対前年度比		水道ビ' ヅ ヨ' (R3)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)	
1. 建設改良費	637,940	71.3	642,295	71.9	△4,355	△0.7	373,860
①配水設備拡張費	155,381	17.4	122,175	13.7	33,206	27.2	
うち包括委託工事費	123,919	13.9	95,556	10.7	28,363	29.7	
②配水設備改良費	455,281	50.9	512,476	57.4	△57,195	△11.2	
うち包括委託工事費	366,542	41.0	468,204	52.4	△101,662	△21.7	
うち施設整備費	508	0.1	13,523	1.5	△13,015	△96.2	
③営業設備費	27,278	3.0	7,644	0.8	19,634	256.9	
うち包括委託工事費	9,330	1.0	7,546	0.8	1,784	23.6	
2. 企業債償還金	256,569	28.7	250,657	28.1	5,912	2.4	
計	894,509	100.0	892,952	100.0	1,557	0.2	

資本的収支

資本的収入（498,380千円）－資本的支出（894,509千円）
＝396,129千円の資金不足となりました。

なお、収支不足分につきましては、当年度損益勘定留保資金（※2）等にて補填しました。

※2 当年度損益勘定留保資金とは、現金支出を伴わない減価償却費（固定資産を耐用年数に応じて費用分配した額）等の企業の内部に保留される資金の事。



（資本的収支）

（単位：千円）

		令和3年度	令和2年度	増減	水道ビジネス (R3)
資本的収支不足額		396,129	200,204	195,925	246,393
補填財源	過年度分	38,122	0	38,122	
	当年度分	358,007	200,204	157,803	

令和3年度決算(水道事業)

貸借対照表

資産 100 % 11,801,075 千円	負債 65.3 % 7,707,861 千円
	資本 34.7% 4,093,214 千円
うち現金預金 9.4% 1,110,481 千円	

損益計算書

営業費用 91.3 % 941,563 千円 うち減価償却費 406,081 千円	営業収益 73.2 % 754,740 千円 うち水道料金 752,456 千円
営業外費用 6.1% 63,056 千円	営業外収益 26.8% 276,198 千円 うち長期前受金戻入 201,586 千円
特別損失 0.0% 207 千円	特別利益 0.0% 440 千円
純利益 2.6% 26,552 千円	

《水道事業の総括》

令和3年度は収益的収支において約2,655万円の純利益となりましたが、人口減少による水需要の減少、加えて耐用年数を経過した老朽化施設等の更新費用の増加と共に昨今の建設費や電気料金等の値上げにより厳しい事業運営が見込まれます。

今後も水道ビジョンに掲げる「あらおの水 蛇口から出る安心を これからも」を念頭に、適正な水道料金の設定や費用削減などの経営改革と老朽化対策等の各種施策を着実に実施し、次の世代に引き継げる安心して利用できる水道の維持に努めます。

荒尾市下水道業務の状況

令和4年3月31日現在

項目	単位	令和3年度	令和2年度	増減	伸率(%)
処理区域内人口	人	35,931	36,632	△ 701	△ 1.9
水洗化人口	人	32,424	33,011	△ 587	△ 1.8
普及率	%	71.0	71.4	△ 0.4	
水洗化率	%	90.2	90.1	0.1	
年間総処理水量	m ³	4,570,168	4,639,601	△ 69,433	△ 1.5
年間有収水量	m ³	3,896,830	3,960,852	△ 64,022	△ 1.6

※ 処理区域内人口は、昨年度より701人の減少となりました。また、普及率についても0.4%の減少となりましたが、水洗化率は0.1%とわずかではあります。増加しております。



経営の状況 3条収支（収益的収入・支出）

（収益的収入）

（単位：千円）

	令和3年度		令和2年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業収益	888,413	63.8	832,259	61.8	56,154	6.7
2. 営業外収益	500,686	35.9	512,240	38.0	△ 11,554	△ 2.3
3. 特別利益	4,660	0.3	2,250	0.2	2,410	107.1
計	1,393,759	100.0	1,346,749	100.0	47,010	3.5

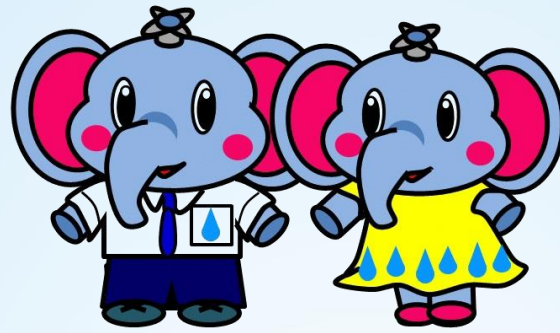
（収益的支出）

（単位：千円）

	令和3年度		令和2年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業費用	1,217,693	92.5	1,103,782	91.5	113,911	10.3
①職員給与費	82,233	6.2	72,920	6.0	9,313	12.8
②経費	509,741	38.8	404,134	33.5	105,607	26.1
③減価償却費	625,261	47.5	614,646	51.0	10,615	1.7
④資産減耗費	458	0.0	12,082	1.0	△ 11,624	△ 96.2
2. 営業外費用	100,016	7.5	102,446	8.5	△ 2,430	△ 2.4
①支払利息	88,930	6.7	97,270	8.1	△ 8,340	△ 8.6
②雑支出	11,086	0.8	5,176	0.4	5,910	114.2
3. 特別損失	13	0.0	0	0.0	13	皆増
計	1,317,722	100.0	1,206,228	100.0	111,494	9.2

収益的収支は、1,393,759千円－1,317,722千円＝76,037千円の純利益となりました。





(損益収支)	(単位：千円)		
	令和3年度	令和2年度	増減
当年度純利益	76,037	140,521	△ 64,484
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	113,053	117,613	△ 4,560
当年度未処分利益剰余金	189,090	258,134	△ 69,044
利益剰余金	285,716	327,291	△ 41,575

当期純利益 7,603万7千円 (令和2年度より6,448万4千円の減少)

利益剰余金 2億8,571万6千円 (令和2年度より4,157万5千円の減少)

経営の状況 4条収支（資本的収入・支出）

	(資本的収入)						(単位：千円)	
	令和3年度		令和2年度		対前年度比		増減	伸率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)				
1. 企業債	347,000	56.4	336,200	64.7	10,800	3.2		
2. 補助金	257,444	41.8	174,982	33.6	82,462	47.1		
3. 工事負担金	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
4. 固定資産売却代金	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
5. 受益者負担金	10,857	1.8	8,793	1.7	2,064	23.5		
計	615,301	100.0	519,975	100.0	95,326	18.3		

	(資本的支出)						(単位：千円)	
	令和3年度		令和2年度		対前年度比		増減	伸率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)				
1. 建設改良費	554,420	51.0	444,369	44.7	110,051	24.8		
2. 借入償還金	531,972	49.0	549,788	55.3	△ 17,816	△ 3.2		
計	1,086,392	100.0	994,157	100.0	92,235	9.3		

💡 キラーン



資本的収支

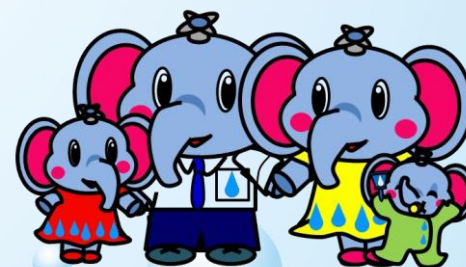
資本的収入（615,301千円）－資本的支出（1,086,392千円）
＝471,091千円の資金不足となりました。

なお、収支不足分につきましては、当年度損益勘定留保資金や減債積立金等にて補填しました。

（資本的収支）

（単位：千円）

		令和3年度	令和2年度	増減
資本的収支不足額		471,091	474,182	△ 3,091
補填財源	過年度分	0	0	0
	当年度分	471,091	474,182	△ 3,091



令和3年度決算(下水道事業)

貸借対照表

資産	負債
100 %	85.9 %
14,398,491 千円	12,362,827 千円
	資本
	14.1%
	2,035,664 千円
うち現金 2.2% 309,819 千円	

損益計算書

営業費用	営業収益
87.4 %	63.8 %
1,217,693 千円	888,413 千円
うち減価償却費 625,261 千円	うち使用料 735,318 千円
	営業外収益
	35.9%
営業外費用 7.2% 100,016 千円	500,686 千円
特別損失 0.0% 13 千円	うち長期前受金戻入 294,906 千円
純利益 5.4% 76,037 千円	特別利益 0.3% 4,660 千円

《下水道事業の総括》

令和3年度は収益的収支において約7,600万円の純利益となりましたが、水道事業と同じく人口減少に伴う料金収入の減少や終末処理施設などの経年劣化に伴う更新費用の増加、また維持管理費などの固定費の支出が増加といった課題もあり、財政運営は厳しい状況が予測されます。

今後も効率的な事業運営を図るため、計画的な施設更新や戦略的な維持管理を行い、中長期的展望に立って経営基盤の強化に努めます。